

連合2022平和行動がスタート!

平和行動in沖縄に連合長崎から9人が参加



平和オキナワ集会にて



フィールドワーク

沖縄の「慰霊の日」である6月23日(木)から25日(土)の3日間「平和行動in沖縄」が開催され、連合長崎からは高藤会長を団長に総勢9人が参加しました。

1日目は那覇文化芸術劇場なは一において「平和オキナワ集会」が全国から750人の参加のもと開催されました。集会では、「沖縄の施政権返還50年と日米地位協定」と題して法政大学法学部 明田川 融教授の講演がありました。講演では「日米地位協定の歴史的経緯」「同協定の問題点と近年の動向」「問題解決へ向けて」など、沖縄そして日本が抱える様々な問題についてお話いただきました。「『沖縄の声に誠実に耳を傾けよう』と政府を責めるのは簡単ですが、ならば本土の人々は沖縄の現実を見て、声を聞こうとしているのか?その無関心こそが沖縄の過重負担の一番の理由ではないか」との問題提起がありました。早急な日米地位協定の抜本的見直しをはかる事の重要性を改めて感じた講演でした。

その後開催された平和式典では、沖縄戦で亡くな

られたすべての人々に哀悼の意を捧げ、国民が安心して暮らせるよう「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を強く求め、今後も粘り強く平和運動を推進していこうという平和アピールが採択されました。

2日目は、「糸数アブチャラガマ」「魂魄の塔」「平和祈念公園」「ひめゆりの塔」など大戦時、唯一地上戦が行われた沖縄戦の戦跡を辿るフィールドワークを行いました。

大戦で多くの尊い犠牲を払い、現在もなお米軍基地の約7割が集中している沖縄の現状を学び、今後も粘り強く平和を訴えていこうと参加者それぞれが感じることが出来た2日間でした。

この沖縄から戦後77年目の連合の平和行動はスタートしますが、広島・長崎・根室へと引継ぎ、「平和の大切さ・尊さ」の思いをたくさんの人々に伝えていきましょう。

～働くことを軸とする安心社会の実現に向けて～

政策・制度学習会で理解を深める

連合長崎は、働く者・生活者が求める政策・制度の実現に向け、毎年長崎県に対し(各地協は市町に対し)、政策・制度要求行動を行っています。

この政策・制度実現に向けた取り組みに理解を深めるため、6月2日(木)18:30～長崎県勤労福祉会館2階講堂において「連合長崎2022年度 政策・制度学習会」を開催し、構成組織、地協・ブロック、また政党・各級議員より55名が出席しました。

学習会では、「連合の重点政策」と題し、連合本部 総合政策推進局 富田珠代総合局長からご講演をいただきました。講演では、連合ビジョン「働くことを

軸とする安心社会「まもる・つなぐ・創り出す」の実現に向けた政策・制度要求の取り組みについてお話いただいたほか、連合本部で議論されている「2022年度 連合の重点政策」の各項目について解説があり、政策を実現するために国や世論にどのようにアプローチしているかご説明いただきました。

その後、連合長崎の西野副事務局長から、現在取りまとめ中の「長崎県に対する政策制度要求書(案)」について提起しました。要求書は、参加者の意見などを踏まえて最終的な内容を確定し、長崎県に対して提出する予定です。

《連合がめざす社会像とは》

- ・働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件の下、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型社会である。
- ・加えて、「持続可能性」と「包摂」を基底に置き、年齢や性別、障がいの有無、国籍などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会、すなわち「つづく社会」「つづけたい社会」である。



連合長崎2022年度政策・制度要求書を説明する
西野副事務局長



連合の重点政策について説明する
富田総合政策推進局長

6月は男女平等月間!

連合長崎は男女平等に向けた取り組みを進めています



白川あゆみ様による「男女平等参画社会を目指して」の講演

★男女平等月間学習会の開催

5月28日(土)長崎県勤労福祉会館で開催し、女性委員会を中心に、各構成組織より30名の方に参加いただきました。

最初に連合長崎男女平等参画推進委員会を代表し米村連合長崎副会長(自治労)より主催者を代表してご挨拶を頂き、引き続き、白川あゆみ様より「男女平等参画社会を目指して」と題し、ご講演をいただきました。講演の中では、日本のジェンダー平等に関する現状と課題などについてお話しいただき、男女問わず多様なライフスタイルに適した働き方ができるようコロナ禍でも誰一人取り残されない社会作りが大切であることを学び、有意義な学習会となりました。

★長崎労働局雇用環境・均等室へ要請

連合長崎男女平等参画推進委員会・女性委員会および連合長崎は、6月10日(金)長崎労働局雇用環境・均等室に対し、「雇用における男女平等に関する要請書」を提出しました。

働き方改革への取り組みに注目が集まる中、女性活躍をはじめ、さまざまな人びとがいきいきと働け

る就業環境の整備・改善は一層重要な課題となっています。雇用の分野における男女平等は、政府の第5次男女共同参画基本計画においても極めて重要な位置付けにあります。近年では性的指向・性自認(SOGI)への対応や、仕事と不妊治療の両立など、新たな課題も大きく取り上げられています。これらの内容の周知と趣旨の徹底をお願いするとともに、連合長崎と雇用環境・均等室との連携強化を目的として行いました。

連合長崎を代表し、連合長崎男女平等参画推進委員会 米村委員長から長崎労働局雇用環境・均等室 播磨室長に対し要請書を手交しました。要請項目は、「雇用創出と生活困窮者への人道支援」「仕事と育児・介護、不妊治療等が両立できる就業環境の整備」「ハラスメント対策、女性活躍推進」について3項目あり、その後意見交換を行い、ともに様々な課題に対して共通認識と今後連携した取り組みを行うことを確認しました。

連合長崎は長崎労働局とともに、ハラスメントのないワーク・ライフ・バランス社会の実現に取り組んでまいります。



長崎労働局雇用環境・均等室 播磨室長に要請書を手交



アジア・アフリカ支援米活動！ 各地協での田植え今年も始まる！

今年も各地区でのアジア・アフリカ支援米活動がスタートしました。毎年8つの地協・ブロックにご協力いただいています。今年も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、田植えについては開催規模を縮小しつつも、各構成組織組合員さんのご協力をいただきながら実施しました。

今年収穫したお米は、アフリカ・アジア(マリ、カンボジア)に送るほか、長崎県内の子ども食堂やフードバンクにも寄付をし、様々な支援に役立てていただく予定です。

今年も、田植え・稲刈り、そして発送まで、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



長崎地区



諫早地区



五島地区



佐世保地区



北松地区



対馬地区

第26回参議院議員選挙

これまでのご支援に感謝をいたします。

7月10日に投開票が行われた第26回参議院選挙は、国民無視の自公政権の暴走にストップをかけ、本来の民主主義、そして政治を私たちの手に取り戻し、働く者・生活者の視点にたった政策・制度を実現するための大事な選挙でした。

長崎選挙区では、連合長崎が推薦し戦った「白川あゆみ」候補が県内各地を回り、もっと良い未来への想いを訴えながら、戦ってきましたが当選することができませんでした。これまでの、多くの方々にご支援、ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

また、比例区では、連合が9人の組織内候補者の推薦を決定し、出身組織を中心に勝利に向けた取り組み

を行いました。

結果8名が当選を果たすことができ、我々働く者・生活者の声を代弁してくれる仲間として今後の活躍を期待します。



これまでのご支援に感謝を伝える白川氏



選対を代表して謝辞を述べる山田選対長